

事務事業評価表 平成22年度

政策 安心を感じる保健・医療・福祉の充実  
 施策 子育て環境の充実  
 基本事業 未就学期児童への支援

事業名 **保育園維持管理経費**

[0147]

部名	健康福祉部	事業開始年度	平成 - 年度	実施計画事業認定	非対象
課名	子育て支援室保育課	事業終了年度	- 年度	会計区分	一般会計

事務事業の目的と成果	
対象	<p>(誰、何に対して事業を行うのか)</p> <p>市立保育所</p>
意図	<p>(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)</p> <p>保育所が安全衛生的に維持管理される。</p>
手段	<p>(事務事業の内容、やり方、手段)</p> <p>市立保育所の施設の維持 管理に要する経費</p>

事業量・コスト指標の推移						
区分		単位	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度当初
対象指標1	市立保育所数 (公設民営を除く)	箇所	5	5	5	5
対象指標2						
活動指標1	維持 管理経費	千円	34,916	34,406	33,546	33,342
活動指標2	開園日数	日	292	294	293	293
成果指標1	運営上支障が出た日数	日	0	0	0	0
成果指標2						
単位コスト指標						
事業費計 (A)		千円	34,916	34,406	33,546	33,342
正職員人件費 (B)		千円	2,512	2,507	2,489	2,498
<b>総事業費 (A) + (B)</b>		<b>千円</b>	<b>37,428</b>	<b>36,913</b>	<b>36,035</b>	<b>35,840</b>

費用内訳	
21年度	需用費 11,987千円、役務費 173千円、委託料 20,511千円、使用料及び賃借料 44千円、原材料費 140千円、備品購入費 691千円

## 事業を取り巻く環境変化

事業開始背景		事業を取り巻く環境変化	保育所の維持管理のため実施してきているが、建築後30年を経過しているため年々、施設修繕費等の経費が増加してきている。
--------	--	-------------	--

## 21年度の実績による事業課の評価（7月時点）

(1)税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？

義務的事務事業

妥当である

妥当性が低い

理由  
・  
根拠は？

市立保育所の機能維持の為、維持管理業務を実施することは妥当。

(2)上位の基本事業への貢献度は大きいですか？

貢献度大きい

貢献度ふつう

貢献度小さい

基礎的事務事業

理由  
・  
根拠は？

保育施設の整備は児童の安全 保護者の安心につながるため、貢献度は大きい。

(3)計画どおりに成果はあがっていますか？計画どおりに成果がでている理由、でていない理由は何ですか？

あがっている

どちらかといえばあがっている

あがらない

理由  
・  
根拠は？

古い施設の設備を一部改修し保育所機能を維持することが出来た。全体として施設の老朽化が進んでおり修繕箇所が増えている。

(4)成果が向上する余地（可能性）は、ありますか？その理由は何ですか？

成果向上余地 大

成果向上余地 中

成果向上余地 小・なし

理由  
・  
根拠は？

施設の老朽化が進んでおり 小規模な修繕では対応が難しくなっている。

(5)現状の成果を落とさずにコスト（予算 + 所要時間）を削減する新たな方法はありませんか？（受益者負担含む）

ある

ない

理由  
・  
根拠は？

コストは必要最小限に抑えており これ以上の削減余地を見出すことは難しい。